

グローバル化する世界の中で、新たな可能性を切りひらく力が求められています。さまざまな地域や文化を理解する（comprehension）、異なる文化をもつ人々と交流する（communication）、国境や文化を超えて協働する（collaboration）、グローバル化する現代に必要な知識と感性と実践力を身につける、3つのCがキーワードです。文教育学部のどの学科からも進学できる新しいコースとして 2005 年に設置され、今春第一期生 18 名を送り出しました。

時間	イベント	教室	担当者
10:40 ～11:10	グロ文ってどんなところ？ 学環のねらい、特色、カリキュラム、進路などについてスライドをつかって説明します。	共通講義棟1号館 301 室	石塚道子教授（コース主任）
11:10 ～11:50	模擬授業「イスラーム世界と日本」 イスラーム世界の理解は、国際社会の動きに密接に関わっています。イスラームのどこがわかりにくいのか？ 高校生のアンケート調査や日本とイスラーム世界の意外な関係から解きほぐします。	共通講義棟1号館 301 室	三浦徹教授（イスラーム史・中東研究）
11:50 ～12:30	学生によるコース紹介と、教員・学生とのトーク・タイム グロ文で学べること、学環の雰囲気など、皆さんの先輩が説明します。その後は、参加者の皆さんと、教員と学生の間での自由な質疑・交流の時間です。	共通講義棟1号館 301 室	教員と学生（3 年生）

14:10 ～14:40	グロ文ってどんなところ？ 学環のねらい、特色、カリキュラム、進路などについてスライドをつかって説明します。	共通講義棟1号館 301 室	石塚道子教授（コース主任）
14:50 ～15:30	学生からのコース紹介と、教員・学生とのトーク・タイム グロ文で学べること、学環の雰囲気など、皆さんの先輩が説明します。その後は、参加者の皆さんと、教員と学生の間での自由な質疑・交流の時間です。	共通講義棟1号館 301 室	教員と学生（3 年生）

注意事項：

- ① 模擬授業は、午前中の一回だけです。
- ② 3 年次編入でグローバル文化学環に編入することができます。このような方のご参加も歓迎します。
- ③ 下記の関係資料が、当日、閲覧できます。
 - 『グローバル文化学環会報』 第一号（2009 年 3 月刊）
 - 『日韓大学生交流セミナー報告書』（19 年度、20 年度）
 - 『国際協力実習報告書』（18 年度、19 年度）
 - 『第 8 回留学生と日本人学生のための国際教育交流シンポジウム報告書』
- ④ グローバル文化学環のカリキュラムや行事などの情報は下記のウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.li.ocha.ac.jp/global/index.html>